

21～22 年度 第 1 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 7 月 1 0 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・×渡部 前委員 ○棕・○神永・○山田		
1. あいさつ 芝副会長、西倉委員長より			
2. 自己紹介及び委嘱状授与			
3. 各種報告 ・「管理建築士講習」の実施日 第二期受付：7/1～7/10（土日祭日を除く）実施日：8/10、9/8 ※7/17 まで受付延長 第三期受付：11 月上旬 実施日：12/9、2/22 ・「建築士定期講習」の実施日：11/26 （受付業務：9 月上旬を予定） ・「J A S S 5」改訂の講習会案内（横浜支部実施） ・委員会名簿については修正及び追記後、委員へメールで送信する。 ・各種講習会案内等を配布			
4. 議 題			
(1) 前年度よりの引継ぎ事項（前回議事録を資料として使用）			
・講習会の開催について（内容、開催時期） → 内容は未定なので、考えて欲しい。また、決定しましたら開催時期、内容等を企画業務委員会へ提出して欲しい。 → 「J A S S 5 改訂」講習会の実施をして欲しい。			
・JW-CAD の講習会（①天空率＋日影、②初心者向け（希望あり））定員：1 5 名 → 初心者向けが人気があるので、追加で行う。開催時期が決定したら企画業務委員会へ提出する。			
・設計事務所として行なわなければならない書類等（必要な書類、備え付ける書類等） の整備について （木造住宅用の設計監理契約書作成含む） 約款の作成 → 木造特別委員会へ			
・建築における環境問題について（白石委員より資料の提出及び説明あり） 環境技術の紹介。建築ベースの話を発表して欲しい。			
・工事監理ガイドライン等について → 木造部分は、木造特別委員会へ 告示 15 号との関係と内容別（A ランク、B ランク、C ランク等）における人・時間の設定。 500 ㎡以下の場合の設定等が必要。（企画業務委員会とも内容は絡むが・・・）			
・2006 年木造チェックリスト作成 → 木造特別委員会へ			
・特記仕様書（意匠）の改訂（2007 年作成） → 早急に手をつけて欲しい。			
・構造標準図の改訂（2005 年作成）→ 早急に手をつけて欲しい。 構造関係担当：荒谷、松崎、西倉			
・木造構造ソフトのまとめ（表）について（荒谷委員より資料の提出及び説明） 耐震ソフト（一般診断、精密診断）についても追加する。			
・「建築物調査員腕章」を作成したので、宣伝等をお願いしたい。			
(2) 今年度事業について			
・開催については、月 1 回 原則第三木曜日 15:00～ （賛助会の説明等が入れば時間を繰下げる） 次回開催 8/19（水）とし、8 月開催時に 9 月以降の日程を決定する。			

- ・環境問題については、長期的な考え方をするが、途中経過等を会報等で発表していく。

(3) その他

- ・「JASS 5」の改訂版を学会より購入する。
- ・講習会の情報は、企画業務委員会若しくは、事務局 磯部まで連絡すること。

次回 平成21年 8月19日(水) 15:00～ 神事協会議室にて

21～22 年度 第 2 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録				
開催日時	平成 2 1 年 8 月 1 9 日 (木)	会 場	神事協会議室	
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・×樋口(雅) ・×荒谷 ・×有泉 ・○渡部			
1. あいさつ 芝副会長、西倉委員長より				
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 「管理建築士講習」 第三期受付：11 月上旬 実施日：2/22 ・ 「建築士定期講習」 第三期受付：8/31～9/11 (配布：8/24～9/11) 実施日：11/26 県民ホール大会議室 ・ 委員会名簿配布 ・ その他、各種講習案内等を配布				
3. 議 題				
(1) 2 1 年度キャンペーン事業への協力について				
	9/15 (火)	9/16 (水)	9/17 (木)	9/18 (金)
①10:30～15:30	野口謙次郎	松崎寛一	白石 巖 渡部雅行	
②15:30～20:30		樋口和也		西倉 哲夫 有泉ひとみ
決定したら地図等の案内を送付する。				
(2) 講習会の開催について				
①「J A S S 5 改訂」講習会の開催について				
開催時期：1 1 月末頃か、1 月中 内 容：改訂の内容及びポイントの説明。意匠事務所でもわかる内容を希望 洪先生に打診し、講師の紹介をしていただく。(担当：磯部)				
②JW-CAD の講習会 (①天空率＋日影、②初心者向け (希望あり)) 定員：1 5 名				
・ 天空率＋日影については、様子を見る。 ・ 初心者向けについては、引き続き実施する。(実施予定：11/2, 11/4 と 11/24, 11/25)				
(3) 建築における環境問題について				
・ 石井吉徳先生がメディアで取り上げられた。 ・ 太陽光発電、太陽光給湯の研究を行う。 ・ 定期的に勉強会を行う。(委員以外も出席可) できれば科学的に分析できる人が講師となって欲しい。 ・ 白石委員を中心に活動し、テーマを決めて研究グループを作っていきたい。 ・ 新聞記事の抜粋資料配布。 ・ 環境についての講習会があるので、白石委員より資料をもらい委員へ送付する。				
(4) 工事監理ガイドライン等について (木造以外の部分)				
・ 新・建築士制度普及協会より都道府県において「業務報酬基準と工事監理ガイドライン講習会」の実施協力依頼 (委託事業) があった。 建築士会と協力をして実施することを 8/17 の打合せにて確認した。 当会担当としては、10/29 横浜 (横浜市開港記念会館 講堂) になる。また、その他 1 会場については、士会が探している。				

- ・講師については、3/26 開催の講師講習会に出席した者（吉川副会長と増田理事）との条件があり、加えて 9/25 開催の講師講習会に出席することとなっている。
- 9/25 の講習に出席ができるのが、増田理事のみであるため、増田理事に講師をお願いする。増田理事は、「工事監理ガイドライン」を担当する。「業務報酬基準」については、士会が担当する。
- ・実施に当たっては、企画業務委員会、木造特別委員会と共に行う。
- ・募集案内については、分かり次第連絡することとした。

（５）特記仕様書（意匠）の改訂（2007 年作成）（構造関係担当：荒谷、松崎、西倉）

- ・概要書（2003 年作成）も含む
- ・内容がわかり次第修正する。追加したいものがあれば提案してもらう。

（６）構造標準図の改訂（2005 年作成）（構造関係担当：荒谷、松崎、西倉）

- ・内容がわかり次第修正する。
- ・西倉委員長より J A S S 5 の温度補正についての資料提供あり。

上記議題の（５）と（６）の資料はファイルにて配布したので、改訂終了まではそのファイルを持参する。各ファイルの下段の図面名称等の記入欄は、構造標準図のものに統一する。

（７）次回以降の委員会開催日程について

- ・9/17、10/22、11/19、12/17 とした。1 月以降は、後日決定する。

（８）その他

①地盤保証について疑問が生じた。

現場審査等（特に木造）における矛盾や疑問点があれば出してもらう。他の委員会へも打診する。

②半公共的な建物で、県産木材を利用すると補助金制度がある。詳細については、神奈川県森林課へ。

次回 平成 21 年 9 月 17 日（木） 15:00～ 神事協会議室にて

（賛助会等からの商品 P R 打診等があった場合は、時間を繰り上げる）

21～22 年度 第 3 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 9 月 1 7 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・×樋口(和) ・○野口 ・○樋口(雅) ・×荒谷 ・×有泉 ・○渡部		

1. あいさつ 西倉委員長より

2. 各種報告

- ・前回議事録の確認
- ・「管理建築士講習」
第三期受付：11 月上旬 実施日：2/22
- ・業務報酬基準・工事監理ガイドライン講習会のお知らせ
新・建築士制度普及協会 (<http://www.icas.or.jp/koushukai/index.html>)
受付等の手伝いがあるため、申込をお願いした。
- ・その他

3. 議 題

(1) 講習会の開催について

①「J A S S 5 改訂」講習会の開催について

- ・現在明治大学の菊池先生より紹介を受けた宇都宮大学の榊田先生と連絡をとり、開催に向けた調整を行っている。開催時期としては、1 月下旬～2 月上旬としたい。

②JW-CAD の講習会 (①天空率+日影、②初心者向け (希望あり)) 定員：1 5 名

- ・今年度に 1 回開催できるため、11/4 及び 11/11 とした。また、来年度も実施できる。
- ・土日での開催については、土曜日は良いが日曜日は不可とした。
- ・次年度は AUTO CAD についても開催を検討する。

③その他

- ・完成保証、瑕疵担保履行法等についての勉強会を実施しては？との意見あり。

(2) 特記仕様書 (意匠) の改訂 (2007 年作成) (構造関係担当：荒谷、松崎、西倉)

- ・概要書 (2003 年作成) も含む

→ 意見があれば提出することとした。また、コンクリート等については、JASS 5 の改訂講習会受講後に検討していく。

(3) 構造標準図の改訂 (2005 年作成) (構造関係担当：荒谷、松崎、西倉)

- ・松崎委員より資料の提供あり。

→ 意見があれば提出することとした。また、コンクリート等については、JASS 5 の改訂講習会受講後に検討していく。

(4) 工事監理ガイドライン等について (木造以外の部分)

- ・10/14 及び 10/29 の講習会実施後に検討していく。また、この講習会で質問書を作成するよう、普及協会へ打診する。

(5) 建築における環境問題について

- ・白石委員より資料提出あり。

①太陽光発電（ニュートン記事抜粋）

世界の石油消費（一次エネルギー）の2～3%減しか出来ないのが現状。

自然エネルギー（風、太陽） ドイツが先進国

②白石委員の実例

現在は補助金があるので導入し易い。電気削減シミュレーション等もメーカーがだしてくれる。

- ・グーグルにて「自然エネルギーと太陽光発電」で検索すると資料が出てくる。

(6) 構造／設備一級建築士制度についての意見について

- ・意見については、提出しないこととした。

(7) その他

なし

次回 平成21年10月22日（木） 15:00～ 神事協会議室にて

21～22 年度 第 4 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 1 0 月 2 2 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ×松崎 ・×白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・×樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・×渡部		
1. あいさつ 芝副会長より 2. 各種報告 ・前回議事録の確認 ・「管理建築士講習」 第三期 配布：10/26～11/13 受付：11/4～11/13 実施日：2/22 ・その他 3. 議 題 (1) 講習会の開催について ①「JASS 5 改訂」講習会の開催について 講師：宇都宮大学 梶田 佳寛 先生 日時：平成 2 2 年 2 月 4 日 (木) 9:00～17:00 (予定) 会場：横浜情報文化センター ホール ・年内に講師と打合せを行うように打診する。 ・内容としては、改定ポイント、設計・工事監理に反映させること、木造の基礎関係 ・案内には、意匠系の事務所でも受講できるような書き方にする。 ②JW-CAD の講習会 定員：15 名 21 年度の追加開催は不可。次年度に実施する。 ・入門編と初級者編を主に開催していくこととした。 (2) 各種保険について (野口委員より①～③の資料提供あり、説明) ①住宅瑕疵担保責任保険 (住宅保証機構) ②完成保証 ((株)ハウス・デポ・ジャパン) ③完成保証 (住宅保証機構) ・地盤保証制度についての資料等を情報収集する。 保証をつけなくても可。住宅保証機構では、チェックシートがあり、設計者が確認すれば良い。 (3) 特記仕様書 (意匠) の改訂 (2007 年作成) (構造関係担当：荒谷、松崎、西倉) ・概要書 (2003 年作成) も含む (4) 構造標準図の改訂 (2005 年作成) (構造関係担当：荒谷、松崎、西倉) 上記 (3)、(4) は、意見があれば提出することとした。また、コンクリート等については、JASS 5 の改訂講習会受講後に検討していく。 ・JASS 5 の改定としては、かぶり厚さ、設計基準強度、養生、木造の基礎等があるようだ。 ・壁式、小規模鉄骨についての資料を荒谷委員より提供いただく。 (5) 建築における環境問題について → 次回へ (6) 工事監理ガイドライン等について (木造以外の部分) → 10/29 講習会受講後に検討する。 (7) その他 ①確認申請プログラムについて → パルペット、建築行政情報センター ②木造構造ソフトのまとめを荒谷委員より送付してもらい、ホームページへ掲載する。			
次回、平成 2 1 年 1 1 月 1 9 日 (木) 1 5 : 0 0 ～ 神事協会議室にて			

21～22 年度 第 5 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 1 1 月 1 9 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ×芝京子 ・×西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 玉田副委員長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認			
②各種講習会等の情報提供			
・ 12/8 「神奈川県みんなの街づくり条例及び川崎市福祉の街づくり条例改正」講習会			
・ 12/8 「坂茂建築設計の作品」講演会			
・ 12/3 賛助会フェア			
・ 12/2 神事協サロン「ガウディ論」			
・ 横浜 CASBEE 講習会等			
③木造建築物の許容応力度計算ソフトについての報告（荒谷委員より）			
1 3 ソフトの一覧表を作成。			
委員会時に何社かにデモを行ってもらおうよう依頼することとした。（担当：荒谷委員）			
耐震診断ソフトは別に作成する。			
3. 議 題			
(1) 2 2 年度事業計画及び予算案について			
・ 環境問題について、一定の成果を会員へ情報提供していく。今までのまとめが必要。 テーマを絞り、具体的な形にしたい。建材等についての経済的比較、性能比較等。			
・ 環境を意識した住宅のページ（ホームページ）作成し、少しずつ内容を充実させていく。			
・ 環境問題に取り組んだ建売（東京 ドミノ住宅 野沢マサミツ氏）についての講演会等の実施。			
・ 自立循環型設計マニュアルを利用した講習			
・ 省エネ法（戸建て）と長期優良住宅で基準等のリンクがある。			
<収入の部> 310,000 円			
①JW-CAD 研修会（1 回あたり） 2,000 円×15 名＝30,000 円 （初心者、初級者、天空率等）			
②AutoCAD 研修会（1 回あたり） 2,000 円×15 名＝30,000 円			
③ 2 2 年度技術研修会（テーマ：環境問題） 3,000 円×50 名＝150,000 円			
④見学会（テーマ：環境問題） 2,500 円×40 名＝100,000 円			
<支出の部> 205,000 円			
①JW-CAD 研修会（1 回あたり） 1,500 円×15 名＝22,500 円			
②AutoCAD 研修会（1 回あたり） 1,500 円×15 名＝22,500 円			
③ 2 2 年度技術研修会（テーマ：環境問題） 会場費 20,000 円 講師料 20,000 円 人件費 10,000 円 諸雑費 10,000 円 合計 60,000 円			
④見学会（テーマ：環境問題） バス代 70,000 円 人件費 20,000 円 諸雑費 10,000 円 合計 100,000 円			
<会議費> 330,000 円			
2,500 円×132 名＝330,000 円			
(2) 「J A S S 5 改訂」講習会の開催について			
日時：平成 2 2 年 2 月 4 日（木） 9:00～17:00 （予定）			
会場：横浜情報文化センター ホール			
講師：宇都宮大学 梶田 佳寛 先生			

講師との打合せ：12/3 14:00～（西倉、磯部） 荒谷委員も日程が合えば同席したい。後日連絡する。

- ・学術的な内容ではなく、実務に活かせる内容にして欲しい。
- ・テキストとして使用するのか？建築技術等ではダメか？
- ・テキストは1割引で入荷できないか？ → 学会へ打診する。
- ・PRが大事。何回も開催出来ない、今回限り等の文言をいれる。
また、支部長へ周知依頼を出す。東京では直ぐに満席になった講習である旨を依頼文に入れる。
- ・後援として、学会、士会、建設業協会、JSCAへ依頼を出すこととした。
- ・受講料は、会員 4,200 円、後援 6,300 円、一般 8,400 とする。

（3）JW-CAD の講習会について

- ・神奈川県東部総合職業技術校より JW-CAD に連動したグーグルスケッチアップについての研修会はどうか？との打診があった。
→ 22年4月～5月に委員会で体験し、今後の開催を決定する。

（4）特記仕様書（意匠）の改訂（2007年作成）（構造関係担当：荒谷、松崎、西倉）

- ・概要書（2003年作成）も含む

（5）構造標準図の改訂（2005年作成）（構造関係担当：荒谷、松崎、西倉）

- ・担当者が集まり、2月の委員会時にまとめる予定。
- ・荒谷委員より、壁式及び小規模鉄骨の標準図を送付いただく。

（6）建築における環境問題について（白石委員より資料提供あり）

①提言「石油ピークと人類未来」（もったいない学会資料より）

「日本のプラン B」の10カ条である。日本の自然、地勢を取り入れ、大陸でない日本を念頭において、

1) 浪費、無駄しない、日本は世界6位の「海岸線の長さ大国」、大陸ではない山岳75%
(特有な地形の利用)

2) 西欧文明の終焉、脱欧入亜を目指す、アメリカ主導のグローバリズムは自壊する

3) 1970年頃を目指そう、当時エネルギー消費は半分、食料自給率は60%、現在より「心は豊か」であった(電気消費は、現在の1/5)

4) 少子化、人口減をチャンスとする、民族の生存には人口少ないほど有利、年長者も働く

5) 流体燃料危機(石油)である、車社会を見直し、鉄路、公共運輸の充実、自転車を利用する

6) 集中から地域分散、低密度の自然エネルギーは分散利用、評価はEPR(エネルギー収支比)

7) 日本列島を有効に使う、石油依存農業の見直し、地産地消の自然農業、分散社会への知恵の技術、

8) 循環社会は3R; Reduce(減量) Reuse(再利用) Recycle(リサイクル)の順、先ず減量

9) 効率優先社会の見直し、集中から地域分散、自然と共存をはかる、これは60倍の雇用を生む

10) GDPの無限成長より「心豊かに」、「もったいない」、「ほどほどに」、「人のつながり」を重んじる社会

②「サステナブル スイス」講習会資料より

③神事協会報10月号に記事を掲載したので、見ていただきたい。(ピュアウッドハウス等)

（7）工事監理ガイドライン等について（木造以外の部分）

- ・工事監理ガイドライン（初版 講習会テキスト）の内容を各委員で確認してもらい、次回の委員会で意見を出すこととした。

（8）その他 → なし

次回 平成21年12月17日（木） 15:00～ 神事協会議室にて 会議終了後、忘年会を実施。

21～22 年度 第 6 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 1 年 1 2 月 1 7 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 各種講習会等の情報提供 1/27 設計・監理契約書関係講習会 ・ その他			
3. 議 題			
(1) 次年度事業計画及び予算案等の修正			
・ 委員長会にて、会員外からの収益を得るような研修会を実施して欲しいとの要望があった。 ・ 予算等を修正し、下記とした。			
<収入の部> 520,000 円			
①JW-CAD 研修会 (初心者) 2,000 円×15 名=30,000 円 JW-CAD 研修会 (初級者) 2,000 円×15 名×3 回=90,000 円 JW-CAD 研修会 (天空率等) 2,000 円×15 名=30,000 円 ②AutoCAD 研修会 2,000 円×15 名=30,000 円 ③ 2 2 年度技術研修会 3,000 円×50 名=150,000 円 ④見学会 (テーマ: 環境問題) 2,500 円×40 名=100,000 円 ⑤環境問題勉強会 (3 回講座) 3,000 円×30 名=90,000 円			
<支出の部> 385,000 円			
①JW-CAD 研修会 (初心者) 1,500 円×15 名=22,500 円 JW-CAD 研修会 (初級者) 1,500 円×15 名×3 回=67,500 円 JW-CAD 研修会 (天空率等) 1,500 円×15 名×3 回=22,500 円 ②AutoCAD 研修会 1,500 円×15 名=22,500 円 ③ 2 2 年度技術研修会 会場費 20,000 円 講師料 20,000 円 人件費 10,000 円 諸雑費 10,000 円 合計 60,000 円 ④見学会 (テーマ: 環境問題) バス代 70,000 円 人件費 20,000 円 諸雑費 10,000 円 合計 100,000 円 ⑤環境問題勉強会 (3 回講座) 講師料 15,000 円×3 回=45,000 円 資料費 1,500 円×30 名=45,000 円 合計 90,000 円			
<会議費> 330,000 円 2,500 円×132 名=330,000 円			
(2) 「J A S S 5 改訂」講習会の開催について (12/9 講師打合せ結果報告)			
日時: 平成 2 2 年 2 月 4 日 (木) 10:00～16:45 (予定) 会場: 横浜情報文化センター ホール 講師: 宇都宮大学 梶田 佳寛 先生 他			
<報告>			
・ 内容については、改定ポイント、設計・工事監理に反映させること、木造の基礎関係 ・ 学術的な内容だけではなく、実務に活かせる内容も話していただきたい。 上記 2 点を重点要望したが、木造の基礎関係はもめているのでどこまで話せるかとの回答であった。 ・ 講習方法としては、「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」(2009.2 改定版) を使用し、配布資料としては、下記三誌のいずれかの抜粋をコピーして使用したい旨の話があった。			

①セメントコンクリート（協会誌） 概要版

②セメント工学（協会誌） 概要版

③建築技術（雑誌） 6月号 概要版

また、コピーに関しては著作権等があるため、梶田先生より使用の許可を得て頂くこととした。

- ・講習方法は、パワーポイントを使用したスタイルで行う。
- ・梶田先生より講師は2名体制としたいとの要望があり、先生より東京工芸大の早川光敬教授並びに大成建設の陣内浩氏と連絡をとって頂くこととした。また、了解が取れば年内中に事務局宛に連絡を入れて頂くこととした。講師依頼については、解り次第行う。
- ・時間割、項目等については、講師が決定次第打合せを行う。

以上を報告した。

- ・当日の運営については、司会：玉田副委員長 開会挨拶：上原会長 閉会挨拶：芝副会長
受付手伝い(9:00 集合)：委員全員 とした。(各自申込をお願いした。)
- ・西倉委員長が出席している「神奈川県生コンクリート工業組合」にも案内文を送付することとした。
- ・テキストの「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」(2009.2 改定版)は、1割引にて購入できることとなったため、受講者価格として8,127円と記載を変更する。

(3) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について (意見の募集)

- ・規模が1,000㎡(300坪)以内の非木造についてまとめることとした。
- ・最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。(検査済みを取るために必要な項目)
- ・次回までに委員全員で提案、意見をそれぞれ持ち寄ることとした。

(4) 建築における環境問題について

- ・資料等のまとめ方について
以前収集した、断熱、サッシ、ガラス、屋根材等の資料を持ち寄って仕分けをし、まとめてみては？との意見があり、次回に資料を持ち寄ることとした。
- ・「自立環境住宅への設計ガイドライン」を参考に勉強会を実施しては？
身近な人たちへエネルギーについてのヒアリングをしてみては？
- ・石井吉徳氏の「低エネルギー社会」の資料を白石委員より提出あり、説明された。

(5) 地盤保証について (地盤保証についての資料の収集)

- ・有泉委員より資料提供あり、説明された。保証については、施主と業者(地盤改良会社)で結んでいる。
- ・地盤調査をして杭が必要になるプロセスが知りたい。
- ・今後も資料の収集を行う。

(6) まちづくり特別委員会の設置等について

- ・当委員会ではなく、特別委員会を設立してもらうことを提案する。
→ 検討した結果、当委員会ではなく、特別委員会を別に設立して欲しいとの意見でまとまった。
詳しい方等をブロック、支部へ打診して委員となってもらうのが良い。

(7) その他

- ①小規模鉄骨造の納まり標準図について荒谷委員より資料提供あり。縮尺等を変更して再提出をして頂くこととした。
また、壁式の標準図も併せて提供いただくこととした。

- ②今後の開催について、1/21、2/25、3/18とした。

次回、平成22年1月21日(木) 15:00~17:00 神事協会議室にて

21～22 年度 第 7 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録				
開催日時	平成 2 2 年 1 月 2 1 日 (木)	会 場	神事協会議室	
出席者 (○)	担当副会長 ×芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・×野口 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・○渡部			
1. あいさつ 西倉委員長より				
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 各種講習会等の情報提供。申込をお願いした。 ・ その他 次年度予算案について、JW-CAD 講習会費を 2,000 円→3,000 円に値上げすることについて、県の補助金を利用しているので値上げについて東部総合職業技術校に確認する。				
3. 議 題				
(1) 「J A S S 5 改訂」講習会の運営についての確認				
日時：平成 2 2 年 2 月 4 日 (木) 10:00～16:45 会場：横浜情報文化センター 6 階 情文ホール				
・ 2/19 講師 (大成建設(株) 陣内 浩氏) との打合せについての報告。 宇都宮から梶田先生が来るため、事故等があった場合にも対応できるよう、陣内氏が朝から待機して頂けることとなった旨報告。また、説明にはパワーポイントを使用して行うスタイルである旨も報告した。 ・ テキスト以外の配布資料については、セメント・コンクリート ((社)セメント協会 2009.9) 抜粋を使用することとし、講師の陣内氏よりセメント協会へは内諾を頂いている。 ・ 受付手伝い(9:00 集合)。終了後、講師を含めた懇親会を実施するので、出席をお願いした。				
(2) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について				
①規模が 1,000 m ² (300 坪) 以下の非木造について ②最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。(検査済みを取るために必要な項目) ③ 3 ランク程度に分ける。 ・ 西倉委員長よりタタキ台の提出があり、鉄骨工事まで精査した。それ以降については、タタキ台を基に次回までに各委員で案を作成してくることとした。 ・ まとめたものについては、神事協独自の基準とするため人工も含めたものとする。				
(3) 建築における環境問題について				
①資料等のまとめについて ・ 今まで収集した資料をファイルにまとめ (断熱、屋根、サッシ等に分ける)、会員が閲覧できるようにすることとした。 ②「自立循環型住宅への設計ガイドライン」→ 非売品 (講習会受講者のみに配布) 当協会で企画し、講習会を実施することは可能。(講師紹介も可) (財) 建築環境・省エネルギー機構 企画環境部 今井様 (青木様) 03-3222-6946 ・ 他団体が開催した「自立循環型住宅」新築のための講習会の資料を樋口(雅)委員より提供があった。 内容：自立循環型住宅の定義、設計プロセス、自然エネルギー活用術、断熱外皮の熱遮断技術、省エネルギー設備計画技術、ケーススタディ 会費：8,000 円/人 講師：南雄三氏 ・ 4 月 20,21,22,23,26,27,28 日のいずれかで開催を予定する。規模：100 名程度 講師については、白石委員より南雄三氏へ打診していただくこととした。				

③住宅用太陽光発電導入支援対策補助事業について

- ・国及び神奈川県内の市町村別補助金についての資料配布。
- ・一般的な住宅に設置する場合、ザックリですが250万円程度の見積りが多い。
現在、売電価格が高いので、余裕のある方は設置した方が良い。
- ・既存建物へのシステム設置について、しっかりとした技術者が行っていないために雨漏り等の問題になっている。事務所協会として啓発する必要があるのでは？との意見あり。

(4) 地盤保証について（地盤保証についての資料の収集）

→ 引き続き資料の収集を行う。

(5) その他

- ①小規模鉄骨造の納まり標準図について荒谷委員より修正した資料提供あり。意見があれば次回までに提出をお願いした。
また、壁式の標準図も併せて提供いただくこととした。
- ②4月は移動委員会とし、4月15日に開催予定とする。（箱根方面）

次回 平成22年 2月25日（木）15:00～ 神事協会議室にて

21～22 年度 第 8 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 2 月 2 5 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ×松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・×樋口(雅) ・×荒谷 ・○有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 3/16 改正省エネ法についての講習会参加について ・ 4/29 神事協 地引網大会への参加について ・ その他			
3. 議 題			
(1) 「自立循環型住宅設計」講習会の開催及び運営について			
・ 司会：白石 開会挨拶：上原会長（芝副会長） 閉会挨拶：芝副会長（西倉委員長） 受付手伝い(9:00 集合)：委員全員 ・ 料金は、一般 9,000 円で会員は 6,000 円とする。 ・ テキストが非売品のため、ポイントカードの利用は出来ない旨を案内に入れる。 ・ 修了証を発行することとし、雛形を白石委員が打診する。 ・ 終了後に講師との懇親会を実施する。 ・ 設備関係の団体へも案内する。			
(2) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について			
①規模が 1,000 m ² (300 坪) 以下の非木造について ②最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。(検査済みを取るために必要な項目)			
・ 木工事までを精査した。それ以降を次回までに委員全員で意見を持ち寄ることとした。(宿題)			
(3) 建築における環境問題について			
・ 白石委員より資料提供あり。「省エネ住宅・新時代」抜粋記事 ・ 住宅のエコポイントの申請料は、25,000 円。 ・ 太陽光発電の売電価格は、現在 4 8 円である。売電すると収入となるので、2 0 万円以上の場合、雑収入となり申告が必要になってくる。			
(4) 地盤保証について（地盤保証についての資料の収集）			
・ ビイック(株)（賛助会）より資料提供あり。次回 14:30～ 3 0 分程度の説明を聞くこととした。			
(5) 特記仕様書（意匠）の改訂（2007 年作成）（構造関係担当：荒谷、松崎、西倉）			
・ 概要書（2003 年作成）も含む ・ JIA で特記仕様書を作成したので参考にしては、との意見があった。 ・ 次回 修正案を提出。			
(6) 構造標準図の改訂（2005 年作成）（構造関係担当：荒谷、松崎、西倉）			
・ 小規模鉄骨標準図の修正について、次回 西倉委員長が修正案を提出する。 ・ 荒谷委員より壁式 RC 造配筋標準図の資料提供あり。次回検討する。 ・ 次回 修正案を提出。			

(7) その他

①まちづくりに関する委員会について

- ・必要であると思うが、当委員会の傘下では無理である。特別委員会を立ち上げ、詳しい方4～5名で構成する形が良いのでは？との意見でまとまった。

②次回 来年度の予定を決定する。

次回 平成22年 3月18日(木) 14:30～ 神事協会議室にて

21～22 年度 第 9 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録				
開催日時	平成 2 2 年 3 月 1 8 日 (木)	会 場	神事協会議室	
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・×樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・○渡部			
1 . あいさつ 芝副会長より				
2 . 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 神事協 地引網大会への参加について ・ 「自立循環型住宅設計」講習会の開催及び運営の確認等 修了証(案)を配布。フォント等を調整し、バランスよくすることとした。 ・ 委員会名簿(修正版)配布 ・ その他 各種講習会等のお知らせ。				
3 . 議 題				
(1) 地盤保証について(地盤保証についての資料の収集)				
・ ビック(株)(賛助会)より説明 ・ 次回 (株)サムシング(地盤調査データから見る地盤の評価方法)について説明頂く。				
(2) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について				
規模が 1,000 m ² (300 坪) 以下の非木造について 最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。(検査済みを取るために必要な項目)				
・ 建築工事までを精査した。 工事監理ガイドライン部会担当者：玉田、野口、渡部 とした。				
(3) 建築における環境問題について				
・ 白石委員より資料提供あり。「貿易立国日本」の貿易額の推移 C O ₂ 削減になっていると思われるが…。				
環境問題関係部会：白石、樋口(雅)、有泉 とした。				
(4) 特記仕様書(意匠)の改訂(2007 年作成) 概要書(2003 年作成)も含む				
・ JIA で特記仕様書 2010 年度版を作成したので参考に購入する。				
(5) 構造標準図の改訂(2005 年作成)				
・ 小規模鉄骨標準図の修正について ・ 壁式 RC 造配筋標準図の検討。				
(4)(5) をまとめる部会として、仕様書関係部会：松崎、樋口(和)、荒谷 とした。				
(6) 移動委員会の開催日変更について → 平成 2 2 年 4 月 1 4 日(水)に変更した。				
(7) C A D 研修会実施について				
・ JW-CAD (初心者) : 5/28、6/3 6/9、6/16 7/20、7/27 ・ JW-CAD (日影 + 天空率) : 9/24、9/30 ・ AUTO-CAD (初心者) : 8/30、9/6 その他、JW-CAD (入門編)(日影 + 天空率)(グーグルスケッチアップ連動編) を実施予定。				
・ 料金は、3,000 円/人とする。				

(8) その他

22年度の目標について

- ・ 会員向けに成果報告会を実施予定。
- ・ ワーキンググループを3つに分ける。委員長は統括とし、属さない。

環境問題関係部会：白石、樋口(雅)、有泉

工事監理ガイドライン部会担当者：玉田、野口、渡部

仕様書関係部会：松崎、樋口(和)、荒谷

委員会開催日について（原則、第3木曜日とする。）

5/20、6/17、7/15、8/19、9/16、10/21、11/18、12/16 を開催予定日とした。

また、委員会開催日に賛助会のセミナー（1時間程度）を実施するため、開催時間を14:30～17:30とした。

次回 平成22年 4月14日（水） 8:00～18:00 移動委員会

21～22 年度 第 1 0 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録				
開催日時	平成 2 2 年 4 月 1 4 日 (水)	会 場	湯河原・箱根	
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・×玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・×野口 ・×樋口(雅) ・×荒谷 ・×有泉 ・×渡部			
<見学会> <会 議> 1 . あいさつ 芝副会長より 2 . 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 神事協 地引網大会への参加について（再依頼） ・ 「自立循環型住宅設計」講習会の申込み状況等について （現在 8 0 名） ・ 委員会名簿（再修正版）配布 （相模原市の住居表示変更に伴い） ・ C A D 研修実施についての報告 第 1 回 JW-CAD（初心者向け） 5/28,6/3 定員締切のため、第 2 回（6/9,6/16）へ振替えることで対応する。 ・ その他 建築基準法第 1 2 条に基づく建築物及び建築設備等の定期報告についての資料配布 神奈川県受動喫煙防止条例についての資料配布 3 . 議 題 （ 1 ）工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について 規模が 1,000 m²（300 坪）以下の非木造について 最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。（検査済みを取るために必要な項目） 部会を開催予定。 （ 2 ）建築における環境問題について ・ 先日お渡しした南雄三氏の資料を 4/21「自立循環型住宅設計」講習会までに必ず目を通してきて下さい。 ・ 「自立循環型住宅設計」講習会 委員全員 9:00 現地集合である旨確認した。 （ 3 ）特記仕様書（意匠）の改訂（2007 年作成） 概要書（2003 年作成）も含む ・ JIA で特記仕様書 2010 年度版を作成したので参考に購入する。 （ 4 ）構造標準図の改訂（2005 年作成） ・ 小規模鉄骨標準図の修正について ・ 壁式 RC 造配筋標準図の検討。 （ 3 ）（ 4 ）について部会で検討中である旨報告があった。 （ 5 ）その他				
次回 平成 2 2 年 5 月 2 0 日（木）14:30～17:30 神事協会議室にて				

21～22 年度 第 11 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 5 月 2 0 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・×白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・○渡部		
< 賛助会 (株)サムシングより説明 > ・太田賛助会長より挨拶 ・地盤調査データから見る地盤の評価方法等について < 会 議 > 1 . あいさつ 芝副会長より 2 . 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 各種講習案内等を配布 ・ その他 3 . 議 題 (1) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について (担当：玉田、野口、渡部) ・ 規模が 1,000 m² (300 坪) 以下の非木造について ・ 最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。(検査済みを取るために必要な項目) (2) 建築における環境問題について (担当：白石、樋口(雅)、有泉) ・ 南雄三氏より シリーズ企画の実施提案を配布。実施に向けて計画を検討する。 (3) 特記仕様書 (意匠) の改訂 (2007 年作成)(担当：松崎、樋口(和)、荒谷) ・ 概要書 (2003 年作成) も含む (4) 構造標準図の改訂 (2005 年作成)(担当：松崎、樋口(和)、荒谷) ・ 小規模鉄骨標準図の修正について及び壁式 RC 造配筋標準図の検討。 (1) ～ (4) について、各部会に分かれて検討等を行った。 (5) 企画業務委員会からの検討依頼について ・ 10/21 賛助会フェア(横浜市技能文化会館)に合わせ、人寄せのためにセミナーの実施を検討して欲しい。企画、技術 (地盤) 設監 (契約書関係) 木造で、各委員会 1 時間のセミナーを実施する。内容については、各委員会へお任せする。 定員規模：50 名程度 → 実施内容を検討する。また、当日は委員会開催日と重複しているため、セミナーを実施後に行う。 (6) その他 ・ JASS5 講習実施に際し協力を頂いた、明治大学の菊池先生との関わりについて 「品質性能」「コスト」「環境影響」を 3 軸とする「材料評価・選定」の手法を講義している。事務所協会へ協力をしたい旨のお話があった。 → 講演会等を実施しても良いのでは？表敬訪問を委員長等で実施する。			
次回	平成 2 2 年 6 月 1 7 日 (木) 14:30～17:30 神事協会議室にて		

21～22 年度 第 12 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 6 月 1 7 日 (木)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 × 芝京子 ・ ○ 西倉委員長 ・ ○ 玉田副委員長 (委員) ○ 松崎 ・ ○ 白石 ・ ○ 樋口(和) ・ ○ 野口 ・ × 樋口(雅) ・ ○ 荒谷 ・ × 有泉 ・ × 渡部		
< 賛助会 (株)都市計画地盤研究会より説明 > ・ 柱状改良コラム杭について 次回、土木管理総合試験所より説明を頂くこととした。 < 会 議 > 1 . あいさつ 西倉委員長より 2 . 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 民間確認検査機関についてのアンケートの回答協力依頼 ・ その他、他団体講習会案内等を配布した。 3 . 議 題 (1) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について (担当 : 玉田、野口、渡部) ・ 規模が 1,000 m² (300 坪) 以下の非木造について ・ 最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。(検査済みを取るために必要な項目) (2) 建築における環境問題について (担当 : 白石、樋口(雅)、有泉) ・ コア東京の抜粋配布 ・ 日経アーキテクチャ 6 月号の記事抜粋及び 6/11 毎日新聞の記事抜粋を配布。 白石委員より説明があった。 (3) 仕様書等の改訂について 特記仕様書 (意匠) の改訂 (2007 年作成)(担当 : 松崎、樋口(和)、荒谷) ・ 概要書 (2003 年作成) も含む → あと少しでまとまる。 構造標準図の改訂 (2005 年作成)(担当 : 松崎、樋口(和)、荒谷) ・ 小規模鉄骨標準図の修正について及び壁式 RC 造配筋標準図の検討。 → 上記 (1) ~ (3) までは 1 0 月 2 1 日までにまとめることとした。 (4) その他 明治大学 菊池先生への表敬訪問について → 早い段階で一回訪問することとし、6/18 に委員長が会う予定なので、日時を打診することとした。 開催予定日の変更について 8 月 1 9 日 → 8 月 1 0 日 14:30 ~ に変更した。			
次回 平成 2 2 年 7 月 1 5 日 (木) 14:30 ~ 17:30 神事協会議室にて			

21～22 年度 第 13 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 7 月 1 5 日 (木)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ×松崎 ・×白石 ・○樋口(和) ・×野口 ・×樋口(雅) ・×荒谷 ・×有泉 ・×渡部		

<賛助会 土木管理総合試験所より説明>
 ・地盤置換特許工法「コロンブス」について

次回、中央開発(株)より説明を頂くこととした。

<会 議>
 1. あいさつ 芝副会長より
 2. 各種報告 前回議事録の確認
 CAD 講習会について(今後の日程も含む)
 JW-CAD 中級編の実施が可能か問い合わせる。
 内容は、図面(平面、立面、断面図)を書いていく等
 また、入門編についても実施する。

明治大学 菊池先生への訪問報告
 ・コストと対応年数を考えずに設計している方が多いように思われる。全く考えていない方もいるようだ。
 勉強会の実施を 10/6 or 10/7 に行いたい。内容等については、先生に打診する。

建築基準法の見直しに関する検討会について
 国交省のホームページで内容はチェックして頂きたい。

賛助会セミナーの実施一覧配布
 内容が多少変更になったので配布した。支部事業等での活用をお願いした。

その他 他団体講習案内等を配布

3. 議 題
 (1) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について(担当:玉田、野口、渡部) → 作業中
 ・規模が 1,000 m² (300 坪) 以下の非木造について
 ・最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。(検査済みを取るために必要な項目)

(2) 建築における環境問題について(担当:白石、樋口(雅)、有泉) → 作業中

(3) 仕様書等の改訂について → 作業中
 特記仕様書(意匠)の改訂(2007 年作成)(担当:松崎、樋口(和)、荒谷)
 ・概要書(2003 年作成)も含む
 構造標準図の改訂(2005 年作成)(担当:松崎、樋口(和)、荒谷)
 ・小規模鉄骨標準図の修正について及び壁式 RC 造配筋標準図の検討
 → 上記(1)～(3)までを 10 月 21 日までにまとめる。

(4) その他 → なし

次回、平成 2 2 年 8 月 1 0 日(火) 14:30～17:30 神事協会議室にて

21～22 年度 第 14 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 22 年 8 月 10 日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・○樋口(雅) ・×荒谷 ・○有泉 ・○渡部		
<賛助会 中央開発(株)より説明> ・地形や対象構造物に応じた調査計画を行う上での着眼点について 次回は、部会を中心に行うため、説明は無しとした。			
<会 議>			
1. あいさつ 省略			
2. 各種報告 前回議事録の確認 CAD 講習会について(今後の日程も含む) 追加講習として、JW-CAD の入門編 1 回、中級編 3 回を予定。 その他 講習会案内等配布			
3. 議 題			
(1) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について(担当：玉田、野口、渡部) → 作業中 ・規模が 1,000 m² (300 坪) 以下の非木造について ・最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。(検査済みを取るために必要な項目)			
(2) 建築における環境問題について(担当：白石、樋口(雅)、有泉) ・白石委員より「環境省 21 世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」の抜粋資料提出があった。この事業は、2009 年エコハウスモデルプロジェクトとして、全国より 60 社の応募があり、20 社が採択されたものである。(1 物件：1 億円を出した。) 近県のプロジェクトの見学及びセミナーの実施を検討する。また、この事業の資料については、委員へメールにて配布する。 ・断熱についてまとめる予定。 ・シーリングファンは、消費電力も少なくエコである。			
<宿題> 水道、光熱費のデータ(2 年分)を次回の委員会時に委員全員が持ち寄る。雛型については、白石委員より送付されるものを使用する。			
(3) 仕様書等の改訂について → 作業中 特記仕様書(意匠)の改訂(2007 年作成)(担当：松崎、樋口(和)、荒谷) ・概要書(2003 年作成)も含む 構造標準図の改訂(2005 年作成)(担当：松崎、樋口(和)、荒谷) ・小規模鉄骨標準図の修正について及び壁式 RC 造配筋標準図の検討 ・東京会作成の標準図を配布し、参考とする。 → 上記(1)～(3)までを 10 月 13 日までにまとめる。			

(4) その他

10/21 の委員会開催日の変更について

- ・ 賛助会フェアの出展物等のまとめを行うため、
平成 22 年 10 月 13 日 (水) 15:00 ~ 神事協会議室 に変更した。

10/21 賛助会フェア (横浜市技能文化会館) でのセミナー内容等について

- ・ 地盤について (25 分)
→ 西倉委員長が資料作成を行う。

賛助会 5 社 × 5 分 (25 分)

- ビイック(株)、(株)サムシング、(株)都市計画地盤研究会、(株)土木管理総合試験所、中央開発(株)へ P R を依頼する。

- ・ 出展ブースでは、建築における環境問題について資料を出して行う。
内容については、次回検討する。

次回、平成 22 年 9 月 16 日 (木) 14:30 ~ 17:30 神事協会議室にて

21～22 年度 第 15 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 9 月 1 6 日 (木)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・○渡部		
< 明治大学 菊池先生との打合せ > 出席：明治大学 菊池雅史教授、藤沼智弘（博士課程、専任助手）			
○勉強会等の内容に関する打合せについて			
(1) 菊池先生がこれまでに取り組んできた事についての概略を説明。(色々なデータベースを持っている) アンケート調査を実施したものをまとめ、学会で発表予定 (23 年度 早稲田大学にて) アンケートの内容及びデータ化 (例、建材の耐用年数、RC の耐用年数等)			
(2) 勉強会の内容について			
菊池先生が提供出来る情報は、 ・エンドユーザーのための目的志向型材料設定法の概略 → 互いにシステム作りをしたい。 共通認識の確保 → 合意形成の確立 → 最終的な意思決定 → 経過フロー (ドミノ、ビンゴ、オセロ理論) が分かりやすい。 ・環境関連 → 骨子は知っていて損はない。 ・建築物が遭遇する自然災害・事故の国際比較 ・資源循環関連 (リサイクル) ・プレゼンテーション法 → 毎日がプレゼン ・フィンランド・北欧の建築事情(話題提供と意見交換)			
事務所協会が望む内容は、 ・施主に設計根拠の妥当性を問われたときの対応 → 顧客満足度 ・説明責任・情報開示に対するエビデンスの揃え方 ・持続的発展が可能な建築生産に関する情報 ・国の立地条件、気候風土、文化・歴史と建築			
(3) 勉強会を通じた今後の協力体制の基本方針の合意			
事務所協会と明治大学のウイン - ウインの関係 ・エンドユーザーの目的指向型設計システムの構築 ・耐用年数の設定、品質・性能等の要求項目、仕様のグレード ・会員に対するアンケート調査等も含めて客観的なデータベースを整理する。			
(4) 勉強会で期待する成果			
・将来の設計者に要求される設計方針の習得 ・建築物が遭遇するリスクとその対応 ・事務所協会とのコラボにより、目的指向型設計システムのプロトタイプの構築			
(5) SC (Sustainable Construction)と「目的指向型設計法」			
21 世紀の世界的な指標：持続的発展が可能な経済社会の構築			
建設業に対する社会一般の認識 ・巨大産業でありながら、ブラックボックス (特にコストと性能) 部分が多すぎる。 ・設計や材料選定の根拠、費用対効果がほとんど説明されない。			
建築の品質に関わる動向 ・仕様書設計から性能設計へ移行			
設計者の現状			

- ・設計監理が不十分 建物の完成までは設計者の責任

施主の動向

- ・高度な専門的知識を有し始めている。

(6) 目的指向型設計法の趣旨

- ・施主が建物に求める要求性能の種類およびそのグレードに対し、客観的・工学的・定量的な解を提示し、共通認識を確保し、所定の合意形成を経て、建物の最終的な品質・性能を担保する。
- ・施主と設計者の間で、建物の最終品質について意思決定に至るまでに相互に共通認識を確保し、合意形成を確立する。
- ・施主の建物の品質・性能に関するイメージを明確にする。
- ・設計業務に係わるものの「説明責任」「情報開示」用のエビデンスとする。

(7) 目的指向型材料設計法の概略

当該建物に対する共通認識の確保

- ・基本的事項の整理
- ・建物を構成する機能の整理
- ・施主の要求する建物の品質・性能等の整理
- ・建物を構成する部位に要求される性能の整理
- ・要求する性能の部位別優先順位の仮決定

合意形成の確立のためのデータベースの整理

- ・施主の定性的な要求性能の定量化
- ・建物のライフサイクルのどの段階で要求性能を確保するのか
- ・要求する性能のグレード化
 - 建築基準法の規定値（最低基準）と、上積みの程度
- ・要求性能を確保するためのコスト

エンドユーザーの意思決定を尊重した目的指向型設計システムの構築

- ・目的：持続可能な建築生産への貢献ツール
- ・対象：施主用、設計者用、教育(学生)用
- ・運用：初心者(施主・学生用)はフリーソフト

客観的なデータベースの整備・作成

- ・統計資料等の整理・分析
- ・国、学会等のオーソライズされた技術資料等の整理・分析
- ・資材・部品・建材等の品質・性能、コストのグレード別分類
- ・設計者・積算者の経験則に基づく耐用年数、耐久性、コスト、品質・性能、等に関するアンケート調査結果の整理・分析
 - 設計者個々の判断を総合・集約したものは客観的資料となる。
- ・以上のうち学会等へ発表したものはオーソライズされているとみなされる。
- ・建築の部位を構成する材料・部品の単位面積当たりの所要量に関する単位の統一

整備すべき客観的データベース(アンケート調査等による)

- ・耐用年数の設定
- ・イニシャル(建設)コストとライフサイクルコストの関係例
- ・建物価格の構成
- ・建設工事費の構成

システム（ソフト）の種類とその運用のイメージ

- ・入門ソフト（フリーソフト）：共通認識確保用ソフト
 - 基本設計に関わったという施主の満足度を満たす。
- ・一般解用ソフト(会員用)：合意形成確立・意思決定用ソフト

- ・特殊解用ソフト(会員用)：意思決定用ソフト

以上、資料の内容について説明された。

- ・学生の発表したスライドを参考に説明（学会で発表した内容。教育プログラム）
- ・材料について ← 環境、安全からの（地球規模、家庭内規模等のDB有り）
- ・耐用年数、CO₂の発生量、省エネの観点から設計者が実務的にどうやって取組んでいくか？を考えている。
- ・対顧客に対してどのように接点を持っていくのか？

< 意見 >

- ・計画者として、施主の意思決定、満足度を得るのは難しい。
- ・お金についてはあるが、結局は設計者の提案型が大勢をしめる。
- ・満足度は、数年では得られない。
- ・温熱環境等の評価はあるが、空間を設計事務所しているので、その満足度には時間がかかる。
- ・どこから取組んだら良いかわからない。
 - 国際レベル、国レベルでどうなのか。最高の所から核に掘り下げていく。
 - 例えば、高寿命、高耐用化等。CO₂の問題は、換算出来るので取組みやすい。
- ・実務に役立つ講習会の実施をしたい。（プレゼンテーション等に関わる話等）
- ・目的としては、エンドユーザー（設計者）のための設計方法（目的指向型）
講義：2h、ディスカッション：1h程度。

以上、意見交換を行い下記内容の勉強会を実施することとした。

講習会テーマ：「エンドユーザーのための目的志向型材料設定法の概略」

開催予定日時：平成23年2月23日～25日のいずれか。時間は、午後半日。

< 会 議 >

1．あいさつ 省略

2．各種報告 前回議事録の確認 その他 講習会案内等配布 (社)日事連が、国土交通大臣より「建築設計・工事監理業務に係る要望」を行った旨を報告。

3．議 題

(1) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について(担当：玉田、野口、渡部)

- ・規模が1,000 m² (300 坪) 以下の非木造について
- ・最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。(検査済みを取るために必要な項目)

→ 部会にて検討を行い、次回までにまとめる作業を行うこととした。

(2) 建築における環境問題について(担当：白石、樋口(雅)、有泉)

- ・水道、光熱費のデータ(2年分)について(宿題提出)
 - 白石、樋口(雅)委員より発表あり。
 - また、最新版のデータベースを各委員へメールにて配信するので、活用をお願いした。

- ・書籍の紹介：世界基準の「いい家」を建てる(著者：森みや)

→ 資料のまとめ方、今後の進め方等について部会にて検討した。

(3) 仕様書等の改訂について (担当 : 松崎、樋口(和)、荒谷)

特記仕様書 (意匠) の改訂 (2007 年作成) 概要書 (2003 年作成) も含む

構造標準図の改訂 (2005 年作成)

- ・小規模鉄骨標準図の修正及び壁式 RC 造配筋標準図の検討

→ 部会にて検討を行い、修正及び追記箇所について既存のファイルに反映させることとした。

(4) 「被災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会の開催について

- ・平成 17 年と 18 年に実施。

開催から 5 年が経過し、技術者証の期限が切れる。

- ・(社)日事連と防災協会で打合せを行った結果、11 月以降に講習を実施予定。ただし、講習は、各単
位会にて開催する。

→ 今年度中に実施することを検討する。

(5) その他

10/21 神事協フェア (横浜市技能文化会館) について

内容 : 家の基礎の基礎 (25 分) → 西倉委員長が説明する。

住宅における地盤について賛助会 5 社 × 5 分程度 (25 分) → 協力依頼を出すこととした。

時間 : 15 : 00 ~ 16 : 00

会報 10 月号への寄稿について (300 ~ 400 文字程度)

- ・松崎委員が担当することとした。

最近の住宅等に関する補助金制度をまとめた本 (1,000 円) を南雄三氏が作成したので、それを使用した講習会の実施をしたらどうか？

→ 講習会を企画する。

次回 平成 22 年 10 月 13 日 (水) 15 : 00 ~ 神事協会議室にて

21～22 年度 第 16 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 22 年 10 月 13 日 (水)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・×樋口(雅) ・○荒谷 ・×有泉 ・○渡部		
1 . あいさつ 芝副会長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 10/21 神事協フェア（横浜市技能文化会館）の確認 ・ブース展示では、今までに収集した環境問題の資料、地盤関係の資料、戸建用 CASBEE の資料を閲覧させる。また、配布物としては、セミナー資料とした。 ・「家の燃費計算」(無料)を行う。出席者に電気、上下水道、ガス、灯油（各 20～21 年度分）のデータ（領収書等）を持参して頂く。計算したものを後日メールにて送付する。 各支部長へ案内を送付する。 その他 講習会案内等配布			
3 . 議 題 (1) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について（担当：玉田、野口、渡部） ・規模が 1,000 m ² (300 坪) 以下の非木造について ・最低限の監理項目、確認内容を抜き出す。（検査済みを取るために必要な項目） (2) 建築における環境問題について（担当：白石、樋口(雅)、有泉） ・水道、光熱費のデータ（2 年分）について（宿題提出） → 芝、渡部、荒谷、松崎の 4 名の委員の方より宿題の提出があった。 ・資料の一部に修正があるので、修正したものを白石委員より配布することとした。 (3) 仕様書等の改訂について（担当：松崎、樋口(和)、荒谷） 特記仕様書（意匠）の改訂（2007 年作成） 概要書（2003 年作成）も含む → 樋口(和)委員より資料提出あり 構造標準図の改訂（2005 年作成） ・小規模鉄骨標準図の修正及び壁式 RC 造配筋標準図の検討 上記（1）～（3）の担当部会に分かれて検討を行った。 各部会でまとめた資料を 11 月 11 日までに事務局へ送付することとした。 また、届いた資料はメールにて各委員へ送付し、意見等を聞くこととした。 (4) 「被災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会の開催について ・(社)日事連より 11 月頃に案内がくり予定なおで、案内がきたら検討する。 (5) その他 建築士事務所キャンペーンの手伝いについて（10:00～14:00 と 14:00～18:00） 日 時：平成 22 年 11 月 13 日（土）～14 日（日） 10:00～20:00 会 場：ダイナシティ小田原 ロビンソン百貨店内			

懇親会：13日 18:30～ ロビンソン百貨店内にて 会費 5,000 円

11/13(10:00～14:00)：荒谷、野口、樋口(和)、樋口(雅)

11/13(14:00～18:00)：西倉、白石 懇親会：西倉、白石

11/14(10:00～14:00)：松崎

11/14(14:00～18:00)：

欠席者にも連絡をして、まとめたものをブロック支部委員会へ報告する。

「建てて得するエコハウス 注目の法制度を整理整頓」研修会の開催について

実施予定：平成23年1月26日(水) or 27日(木) 13:00～17:00 とする。

規模：50名 会場を手配する。

会費：2,000円/人 テキスト代：1,000円

自立循環型住宅「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会

4月頃に実施予定とした。また、「住・緑・家」運営特別委員会と共催で行うよう依頼する。

次回 平成22年11月18日(木) 15:00～17:30 神事協会議室にて

21～22年度 第17回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成22年11月18日 (木)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・×白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・×樋口(雅) ・×荒谷 ・○有泉 ・×渡部		
1. あいさつ 芝副会長より ・出席率が悪いので、重要な仕事を担っている委員会なので、出席をお願いしたい。 2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 各種講習会案内等を配布した。 3. 議 題 (1) 次年度予算案について <収入> JW-CAD 研修会 315,000 円 入門編 1回 45,000 円 (3,000 円×15 名) 初級者 3回 135,000 円 (3,000 円×15 名×3 回) 天空率 1回 45,000 円 (3,000 円×15 名) 中級編 2回 90,000 円 (3,000 円×15 名×2 回) 23年度技術研修会(環境問題) 150,000 円 (3,000 円×50 名) 見学会・講習会(環境問題 5～6月実施) 120,000 円 (3,000 円×40 名) 自立循環型住宅「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会(テキスト込) 570,000 円 (会員 6,000 円×50 名、一般 9,000 円×30 名) 「被災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会(テキスト別) 350,000 円 (会員 5,000 円×30 名、一般 10,000 円×20 名) 菊池教授の学べる研修会「建築士に喜ばれる材料の選定と設計方法」研修会(テキスト別) 250,000 円 (会員 2,000 円×50 名、一般 5,000 円×30 名) <支出> JW-CAD 研修会 157,500 円 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A 入門編 1回 22,500 円 (1,500 円×15 名) 初級者 3回 67,500 円 (1,500 円×15 名×3 回) 天空率 1回 22,500 円 (1,500 円×15 名) 中級編 2回 45,000 円 (1,500 円×15 名×2 回) 23年度技術研修会(環境問題) 102,000 円 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A 見学会・講習会(環境問題 5～6月実施) 98,000 円 定款：3,6 事業年数：1年 優先：A 自立循環型住宅「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会(テキスト込) 384,000 円 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A 「被災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会(テキスト別) 242,000 円 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A 菊池教授の学べる研修会「建築士に喜ばれる材料の選定と設計方法」研修会(テキスト別) 242,000 円 定款：3,6 事業年数：永年 優先：A 会議費 ・会議費 11 名×12 回 (2) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について(担当：玉田、野口、渡部) 工事監理チェックリスト(案)について ・建築編、給排水衛生設備・空調換気設備工事編、昇降機等工事編についての提出があり、内容のチェックを行った。電気工事編については、次回までに案を完成させることとした。 ・共通事項として、表題は「工事監理チェックリスト(○○編)」とする。 ・作成日(2010.12 作成)を記載する。 ・ 検査済みを取得する～しました。 → 検査済証を取得する～しました。へ変更する。			

(3) 建築における環境問題について (担当 : 白石、樋口(雅)、有泉)

水道、光熱費のデータ (2 年分) について (宿題提出)
3 名の委員 (有泉、野口、荒谷) より提出があった。

環境問題についての勉強会について

- ・ 2 ~ 3 月の技術委員会会議後に開催する。資料は、部会でまとめたものを使用。
会場 : 神事協会議室 定員 : 30 名
講師 : 白石委員

(4) 仕様書等の改訂について (担当 : 松崎、樋口(和)、荒谷)

特記仕様書 (意匠) の改訂 (2007 年作成) 概要書 (2003 年作成) も含む

- ・ 樋口(和)委員より資料提出あり、修正点について説明及び確認を行った。
< 修正点 >
 - ・ 07 鉄骨工事の 2 普通鋼 → 再確認する。
 - ・ 09 外装工事の 2 ブレキャストコンクリートを修正。
 - ・ 12 タイル工事の材料に部位 () を追加。
 - ・ 13 木工事の樹種を未記入とした。
 - ・ 17 建具工事の 4 シャッターの防煙・防火シャッターを修正。
 - ・ 17 建具工事の 10 ガラスを変更。
 - ・ 22 シックハウス対策の 1 一般事項に「シックハウス関連の各部位の写真を撮ること」を追記。

構造標準図の改訂 (2005 年作成)

- ・ 小規模鉄骨標準図の修正及び壁式 RC 造配筋標準図の検討

上記 (2) ~ (4) については、次回を最終確認とするので、必ず成果品を提出することとした。

(5) 「建てて得するエコハウス 注目の法制度を整理整頓」研修会の運営について

- ・ 司会 : 白井委員 開会挨拶 : 上原会長 閉会挨拶 : 芝副会長
受付手伝い(13:00 集合) : 委員全員
- ・ 申込書のテキスト欄に有無を記載する。

(6) その他

菊池先生へ講習会 (2 月開催の件) で連絡を取ること。 (担当 : 磯部)

工事共通仕様書の書籍を資料として購入することとした。

次年度の見学会の企画について

- ・ 実施 : 5 ~ 6 月
- ・ 内容 : エコハウスモデル事業 (山梨の物件等) とする。
- ・ 担当 : 樋口(和) 委員とし、案を作成することとした。

次回 平成 22 年 12 月 16 日 (木) 会議 15:00 ~ 忘年会 17:30 ~

21～22 年度 第 18 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 2 年 1 2 月 1 6 日 (木)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・○樋口(雅) ・○荒谷 ・○有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②その他 ・「建てて得するエコハウス 注目の法制度を整理整頓」研修会の運営の確認 ・他団体講習案内等を配布			
3. 議 題 (1) 次年度予算案の修正について			
・ 12/9 開催の委員長会にて 1,000 万円赤字なので、各委員会へ修正案の提出を求められた。 また、講習会等については一般も募集しては？との意見もあった。			
・ 上記要望等も含め修正案は下記とした。			
<収入>			
①JW-CAD 研修会 315,000 円 入門編 1 回 45,000 円 (3,000 円×15 名) 初級者 3 回 135,000 円 (3,000 円×15 名×3 回) 天空率 1 回 45,000 円 (3,000 円×15 名) 中級編 2 回 90,000 円 (3,000 円×15 名×2 回)			
② 2 3 年度技術研修会 (環境問題) 150,000 円 (3,000 円×50 名) → 変更 会員 3,000 円×30 名=90,000 円、一般 6,000 円×20 名=120,000 円 合計 210,000 円			
③見学会・講習会 (環境問題 5～6 月実施) 120,000 円 (3,000 円×40 名) → 変更 会員 3,000 円×30 名=90,000 円、一般 6,000 円×10 名=60,000 円 合計 150,000 円			
④自立循環型住宅「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会 (テキスト込) 570,000 円 (会員 6,000 円×50 名、一般 9,000 円×30 名)			
⑤「被災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会 (テキスト別) 350,000 円 (会員 5,000 円×30 名、一般 10,000 円×20 名)			
⑥菊池教授の学べる研修会「建築士に喜ばれる材料の選定と設計方法」研修会 (テキスト別) 250,000 円 (会員 2,000 円×50 名、一般 5,000 円×30 名)			
<支出>			
①JW-CAD 研修会 157,500 円 入門編 1 回 22,500 円 (1,500 円×15 名) 初級者 3 回 67,500 円 (1,500 円×15 名×3 回) 天空率 1 回 22,500 円 (1,500 円×15 名) 中級編 2 回 45,000 円 (1,500 円×15 名×2 回)			
② 2 3 年度技術研修会 (環境問題) 102,000 円			
③見学会・講習会 (環境問題 5～6 月実施) 98,000 円			
④自立循環型住宅「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会 (テキスト込) 384,000 円 → 修整 諸雑費 30,000 円 (資料印刷費含む) と記載する。			
⑤「被災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会 (テキスト別) 242,000 円 → 修整 講師料 50,000 円×3 名 (建防協の規程による) と記載する。 諸雑費 30,000 円 (資料印刷費含む) と記載する。			
⑥菊池教授の学べる研修会「建築士に喜ばれる材料の選定と設計方法」研修会 (テキスト別) → 訂正 242,000 円 → 142,000 円へ訂正する。 講師料 50,000 円×3 名=150,000 円を 50,000 円×1 名=50,000 円へ訂正する。 諸雑費 30,000 円 (資料印刷費含む) と記載する。			

⑦会議費

- ・会議費 11 名×12 回

(2) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について (担当：玉田、野口、渡部)

- ・電気設備工事編 (案) の提出があり、内容のチェックを行った。

< 共通修整 >

- ・凡例の作成
- ・ ・ を□へ変更し、☒が入れられるようにする。
- ・物件名： の記載。
- ・担当事務所： の記載。
- ・想定：規模が 1,000 m² (300 坪) ～の非木造について → 非木造小規模建築物用 へ変更。
- ・※ 検査済証を取得するために最低限必要な監理項目と確認内容を想定しました。 → を削除。
- ・確認項目欄と確認方法欄は、(☒を入れる。)を追記する。

(3) 建築における環境問題について (担当：白石、樋口(雅)、有泉)

- ①水道、光熱費のデータ (2 年分) について → 未提出：西倉、玉田、樋口(和)
30 人分くらいのデータを集めたいので、協力をお願いしたい。

②環境問題についての勉強会について

開催日時：3 月 17 日 (木) 17:00～18:30 会費：2,000 円

会場：神事協会議室 定員：30 名 講師：白石委員

- ・①の内容も含め、資料等を今後検討していく。

(4) 仕様書等の改訂について (担当：松崎、樋口(和)、荒谷)

- ①特記仕様書 (意匠) の改訂 (2007 年作成) ※概要書 (2003 年作成) も含む
・一部修正を行うこととした。

②構造標準図の改訂 (2005 年作成) (小規模鉄骨標準図の修正及び壁式 RC 造配筋標準図の検討)

- ・東京都のものを参考に作成した。

< 改訂の内容 >

○構造設計標準仕様

- ・1.建築物の構造内容 (3)を追記。
- ・2.使用構造材料の(1)設計基準強度と品質管理強度の数値を削除。
- ・細骨材の種類、粗骨材の種類、水の区分、混和材料の種類、呼び強度を保証する材齢、養生の項目を追加。呼び強度を保証する材齢、養生の材齢に 91 日を追加。
- ・(2)コンクリートブロックの項目に (□JIS A 5406) を追加。
- ・(3)鉄筋の継手工法に溶接継手と機械式継手を追加。
- ・(3)鉄筋の項目に高強度せん断補強筋、丸鋼、溶接金網の項目を追加。
- ・(4)鉄骨の項目の種類に BCP325 を追加。また、JIS 規格・認定番号等の欄を追加。
- ・(6)屋根、床、壁の項目を表に変更。
- ・3.地盤の(1)地盤調査資料の表を見やすく変更。
- ・4.地業工事(2)地盤改良の項目を追加。
- ・(3)杭基礎の項目の材料欄に単位水量を追加。
- ・5.鉄筋コンクリート工事の項目に「本構造設計特記仕様書は、コンクリートの設計基準強度(F_c)が 36N/m²以下に適用し、鉄筋の材種は SD390 以下に適用する。」を追記。
- ・(1)コンクリートの項目の JASS5 による。を JASS5(最新版)による。へ変更。
- ・(2)鉄筋の項目の表を見やすく整理した。
- ・6.鉄骨工事(5)溶接部の検査の表の検査方法に内質検査を追記。

また、検査率又は検査数は、検査率%のみ表示とした。

- ・6.鉄骨工事(5)溶接部の検査の高力ボルトの検査項目を変更。

○鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）

- ・2.鉄筋加工、かぶりの(3)鉄筋の定着及び重ね継手長さに(注)を追記。

○鉄骨構造標準図（1）

- ・1.一般事項の(4)溶接接合の(f)溶接施工(h)の2)ノンスカラップ工法を追記。

- ・2.溶接規準図の●BOX型(通しダイヤフラムの場合)に＜柱材料：BCR295,BCP325を使用する場合＞を追記。

<修正点>

- ・フォントの統一

- ・(社)神奈川県建築士事務所協会、作成年月の追記。

○鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

- ・7.大梁、小梁、片持梁の(1)定着の⑥小梁の定着の図を分かり易く修整する。

（5）(仮称)明治大学 菊池教授の学べる講習会「建築主に喜ばれる材料の選定と設計方法」について

日時：2011年2月25日（金）12:00～17:00

会場：日本丸訓練センター 第1教室 定員：100名

- ・白石委員より、打合せ内容についての資料提出及び説明があり、希望する講習内容及び参加しやすいような講習名称を議論し、下記とした。

名称：明治大学 菊池教授の学べる講習会「顧客が納得・満足する設計方法教えます。」

会費：会員 3,000円 一般 6,000円

内容：持続可能な建築生産、イニシャルコストとライフサイクルコストの関係、建物のライフサイクルと遭遇するリスクについて等を先生に希望する。

- ・菊池先生の名前は、丸ゴシックで強調する。
- ・菊池先生のイメージ画像を案内に入れ込む。

（6）その他

①今後の開催日程について

- ・平成23年 1月20日（木） 15:00～17:30 神事協会議室
- ・平成23年 2月25日（金） 10:00～12:00 日本丸訓練センター
- ・平成23年 3月17日（木） 14:30～16:30 神事協会議室

②技術研修会の開催について

内容：建築における環境に関するもの

担当：白石委員、樋口(雅)委員、有泉委員

日時：平成23年 3月17日（木） 17:00～19:00 神事協会議室

会費：2,000円

次回 平成23年 1月20日（木） 15:00～17:30 神事協会議室

21～22年度 第19回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成23年 1月20日 (木)	会場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・×樋口(雅) ・○荒谷 ・×有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 各種講習会案内を配布、参加をお願いした。			
3. 議題			
(1) 次年度予算案の修正について			
・1/13 委員長会議にて1,000万円の赤字なので、一律12%の削減を要求された。			
・修正案は以下とし、再提出を行うこととした。(太字が変更点)			
<収入> 合計 1,775,000 円			
JW-CAD 研修会 315,000 円			
入門編 1回 45,000 円(3,000 円×15 名)			
初級者 3回 135,000 円(3,000 円×15 名×3 回)			
天空率 1回 45,000 円(3,000 円×15 名)			
中級編 2回 90,000 円(3,000 円×15 名×2 回)			
23年度技術研修会(環境問題)			
会員3,000 円×30 名=90,000 円、一般6,000 円×20 名=120,000 円 合計210,000 円			
見学会・講習会(環境問題 5～6 月実施)			
会員3,000 円×30 名=90,000 円、一般6,000 円×10 名=60,000 円 合計150,000 円			
自立循環型住宅「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会(テキスト込)			
570,000 円(会員6,000 円×50 名、一般9,000 円×30 名)			
「被災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会(テキスト別)			
350,000 円(会員5,000 円×30 名、一般10,000 円×20 名)			
菊池教授の学べる研修会(2回)「 建築主に喜ばれる材料の選定と設計方法 」研修会(テキスト別)			
180,000 円(会員2,000 円×20 名×2 回、一般5,000 円×10 名×2 回) へ修整。			
<支出> 合計 1,055,500 円			
JW-CAD 研修会 157,500 円			
入門編 1回 22,500 円(1,500 円×15 名)			
初級者 3回 67,500 円(1,500 円×15 名×3 回)			
天空率 1回 22,500 円(1,500 円×15 名)			
中級編 2回 45,000 円(1,500 円×15 名×2 回)			
23年度技術研修会(環境問題) 102,000 円 → 82,000 円 へ修整。			
見学会・講習会(環境問題 5～6 月実施) 98,000 円			
自立循環型住宅「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会(テキスト込)			
384,000 円 → 364,000 円 へ修整。			
「被災建築物の被災度区分判定基準および復旧技術指針」講習会(テキスト別)			
242,000 円 → 222,000 円 へ修整。			
菊池教授の学べる研修会(2回)「 建築主に喜ばれる材料の選定と設計方法 」研修会(テキスト別)			
142,000 円 → 66,000 円×2 回=132,000 円 へ修整する。(会場を神事協会議室にて開催する。)			
会議費			
・会議費 11 名 → 9 名×12 回=108 名(欠席を見込む)			
(2) 明治大学 菊池教授の学べる講習会「顧客が納得・満足する設計方法教えます!!」の運営について			
日時：平成23年 2月25日(金) 12:00～17:00			
会場：日本丸訓練センター 第1教室 定員：100 名			

- ・司会：荒谷委員、開会挨拶：上原会長、閉会挨拶：芝副会長 受付手伝い：全員
- ・内容については、白石委員に先生との打合せをお願いした。

(3) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について(担当：玉田、野口、渡部)

- ・工事監理ガイドライン 建築編、給排水衛生設備・空調換気設備工事編、電気設備工事編、昇降機等工事編の前回指摘について修整したものを提出。
- ・ページ数を入れる。
- ・凡例及び使用方法については、各編の最終ページに掲載する。担当者が作成する。
- ・各委員で内容を確認し、気付いた点等があれば連絡して欲しい。

(4) 建築における環境問題について(担当：白石、樋口(雅)、有泉)

1) 資料提供(白石委員より)

ホウ酸の防蟻剤について(日本ボレイト)

- ・ホウ酸は、防蟻剤として認定されていないが、認定が取れる予定である。
- ・30坪で30万円程度である。
- ・水溶性なので、水には弱いですが、蒸散や分解がされないなので効果が持続する。
- ・4/21の技術調査委員会時にお呼びして、説明頂くこととした。(14:30~)
- ・炭の防蟻剤(カーボンコート)は、住宅金融支援機構の基準には乗ってこない。

家の燃費計算の計算シートの見本を配布。数多くのデータを集めたいので協力をお願いした。

ジャーナリストの滝川薫氏の資料等を配布。

2) 環境問題についての勉強会について

日時：平成23年 3月17日(木) 17:00~19:00

会場：神事協会議室 定員：30名 講師：白石委員

- ・会報2月号にて案内を同封するので、名称については、白石委員より提案頂くこととした。

(5) 仕様書等の改訂について 修整版 (担当：松崎、樋口(和)、荒谷)

特記仕様書(意匠)の改訂(2007年作成) 概要書(2003年作成)も含む → 修整中。

構造標準図の改訂(2005年作成) 小規模鉄骨標準図の修正及び壁式RC造配筋標準図の検討

- ・前回指摘のあった所を一部修整。(構造設計標準仕様と鉄骨構造標準図(2))また、フォントについては、一部修整が残っている。
- ・A2版か、A3版にするのかを現在検討中である。

(6) その他

- ・今後の開催日程

日時：平成23年 3月25日(金) 10:00~12:00 日本丸訓練センター第3教室 (弁当用意)

日時：平成23年 4月21日(木) 14:30~ 神事協会議室 日本ボレイトに説明をお願いする。

21～22年度 第20回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成23年 2月25日 (金)	会 場	日本丸訓練センター第3教室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・×樋口(雅) ・○荒谷 ・×有泉 ・○渡部		
1. あいさつ 芝副会長より ・国交省のプロポーザルでCPDの活用が始まった。			
2. 各種報告 前回議事録の確認 その他 ・住宅性能評価・表示協会作成「長持ちする住まいづくりのすすめ」を参考に配布。			
3. 議 題			
(1) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について(担当：玉田、野口、渡部)			
・工事監理ガイドライン 建築編、給排水衛生設備・空調換気設備工事編、昇降機等工事編の前回指摘について修整したものの提出があり、担当者より説明があった。			
＜共通指摘＞			
・□の下に文字を置かない。(カタカナを半角文字にする等して調整する)			
・使用方法是、「チェックリストへの記入方法は、確認した「確認項目」並びに「確認方法」の□にしをつけ、その確認日も合わせて該当欄へ記入します。 また、確認不要の項目や文章については、二重線で消去するか、あらかじめデータを削除してから、御使用下さい。」へ統一する。			
・表記がおかしい部分を再チェックする。(例。・が□になっている等)			
・次回までに完成させ、ワード版とPDF版を作成し、ホームページにアップする。			
(2) 建築における環境問題について(担当：白石、樋口(雅)、有泉)			
「建築におけるほんとうの環境問題とは」勉強会について			
日時：平成23年 3月17日(木) 17:00～19:00 会場：神事協会議室 定員：30名 (3/24 現在 10名)			
・資料案の提出があり、当日の進め方について説明された。			
→ 家の燃費(平成22年1月～12月まで)の資料提供を頂きたい。(事業者に聞けば教えてくれる)サンプルとして30以上欲しい。最新のデータ入力形式にて提出することとした。			
→ 進め方としては、前段を白石委員、CASBEEを樋口(雅)委員、意見交換を有泉委員とした。			
→ 最終版の資料を3/10までに頂くこととした。			
・次第作成			
→ 担当者と打ち合わせる。講師：白石委員、樋口(雅)委員、有泉委員			
・司会：玉田副委員長、あいさつ：芝副会長、閉会あいさつ：西倉委員長			
・技術調査委員会のOBへFAXし、申込みをお願いする。			
(3) その他			
山梨県(都留市と山梨市)のエコハウス見学会について			
・都留市の現場は、水曜日が定休。 開催日時：平成23年 6月 3日(金)を予定。 規模：40名(先着順とする)			
次回 平成23年 3月17日(木) 14:30～16:30 終了後、勉強会の準備及び運営とする。			

21～22 年度 第 21 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成 2 3 年 3 月 2 9 日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 × 芝京子 ・ ○ 西倉委員長 ・ ○ 玉田副委員長 (委員) × 松崎 ・ ○ 白石 ・ ○ 樋口(和) ・ × 野口 ・ ○ 樋口(雅) ・ ○ 荒谷 ・ ○ 有泉 ・ ○ 渡部		
1 . あいさつ 西倉委員長より			
2 . 各種報告 前回議事録の確認 その他 各講習会案内を配布、申込をお願いした。			
3 . 議 題			
(1) 工事監理ガイドライン(木造以外の部分)等について (担当：玉田、野口、渡部)			
・ 工事監理ガイドライン最終確認			
< 修正点 >			
・ 工事種別欄 1.○○○の表記を 1.で改行する。(各編共通)			
・ 表紙にある(社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会はロックする。(各編共通)			
・ 建築編 NO.6 7.2 施工 2)制作を製作に修正。確認項目の「口部の補強」表記を 1 文字下げる。			
・ " NO.7 7.2 施工 2)制作を製作に修正。			
・ " NO.8 8.2 施工 2)の確認項目の「口補強材、錆止め…」表記を 1 文字下げる。			
・ " NO.15 20.1 材料 1)フリーアクセスフロア、可動間仕切、…に修正。			
・ 電気設備工事編 (共通) 確認方法の 等の表記を 1 文字下げる。			
・ " NO.3 2.2 施工 2)電線…物類の 2 行目を 1 文字下げる。			
・ " NO.4 2.2 施工 7)電灯 □ コンセント設備の □ を ・ に変更。2 行目を 1 文字下げる。			
・ " NO.6 6.1 機材 4)端子盤 □ 機器収納ラックの □ を ・ に変更。2 行目を 1 文字下げる。			
・ " NO.6 6.1 機材 6)の 2 行目を 1 文字下げる。			
・ " NO.6 6.2 施工 2)の 2 行目を 1 文字下げる。			
・ " NO.7 6.2 施工 3)の 2 行目、3 行目を 1 文字下げる。			
・ " NO.7 6.2 施工 4)の 2 行目を 1 文字下げる。			
・ 給排水衛生設備・空調換気設備工事編 (共通) 確認方法の 等の表記を 1 文字下げる。			
・ " NO.4 3.1 機材 2)の 2 行目を 1 文字下げる。			
・ " NO.4 3.2 施工 1)の 2 行目を 1 文字下げる。			
・ " NO.4 3.2 施工 2)の 2 行目を 1 文字下げる。			
・ " NO.7 9.3 試験の確認項目最終行 遠隔警報器 (耐電圧 □ 作動) の □ を ・ に変更。			
・ 昇降機等工事編 (共通) 確認方法の 等の表記を 1 文字下げる。			
・ " NO.2 2.昇降機設備工事の項目の前に 2.2 施工と表記する。			
・ 以上を修正し、ホームページの新着情報にお知らせを入れると共に会員のページにアップする。			
(2) 建築における環境問題について (担当：白石、樋口(雅)、有泉)			
・ 「 建築におけるほんとうの環境問題とは 」勉強会の変更日程について			
日時：平成 2 3 年 4 月 1 9 日 (火) 17:00 ～ 19:00			
会場：神事協会議室 定員：30 名			
・ 内容：温暖化問題と Co2、実はエネルギー問題、建築士の責任と役割 (CASBEE) INP ワークショップ			
・ 資料については、家の燃費を現在集計中なので、集計が終了次第、磯部宛に送付する。			
・ 燃費シートに樋口(雅)委員作成の温熱 4 要素データをプラスする。			
・ 「 避けられない家庭における節電 」を家の燃費シートと共に成果品としてホームページ (会員のページ) へ掲載する。			

(3) 仕様書等の改訂について (担当 : 松崎、樋口(和)、荒谷)

特記仕様書 (意匠) の 2010 年改訂版
構造標準図の 2010 年改訂版
壁式 RC 造配筋標準図
木造の柱・梁・筋かい・アンカー等詳細図

以上 4 点の各仕様書の提出があり、内容を確認した。

- ・ JW-CAD 版を荒谷委員より送付頂き、ホームページの新着情報にお知らせを入れると共に会員のページにアップする。
- ・ 小規模鉄骨標準図もあれば活用させて頂くこととした。

(4) エコハウス見学会について

- ・ 樋口(和)委員より案の提出があり、説明された。

日時 : 平成 23 年 6 月 3 日 (金) 8:30 ~ 18:40

行程 : 横浜駅 - 都留市エコハウス - 昼食 (ほうとう小作) - 山梨市エコハウス - ワイン工場 - 横浜駅

- ・ 昼食については、建物も特徴があるので河口湖にある「ほうとう不動 (東恋路店)」に変更する。全体の行程を旅行会社に問合せし、再検討する。
- ・ 会費については、4,500 円 (昼食付) とした。

(5) 「震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準及び復旧技術指針講習会」の開催について

- ・ 平成 23 年 4 月 19 日に講師養成講習会を実施予定。出席者としては、関東甲信越ブロック協議会より 6 名の要望があり、東京会より選出して頂くこととなった旨を報告。
- ・ 実施については、早くて 5 月頃となる予定だが講師の確保及び他会との調整も必要であるため、講師講習会の実施が終了次第、問合せを行う。

(6) その他

- ・ なし

次回 平成 23 年 4 月 19 日 (火) 14:30 ~ 16:30 神事協会議室にて

当日は、防蟻剤の説明会を開催する予定なので、白石委員へ業者との連絡調整をお願いした。
また、会議終了後に勉強会を開催する。

21～22 年度 第 22 回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録				
開催日時	平成 2 3 年 4 月 1 9 日 (火)	会 場	神事協会議室	
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・○西倉委員長 ・○玉田副委員長 (委員) ○松崎 ・○白石 ・○樋口(和) ・○野口 ・○樋口(雅) ・×荒谷 ・○有泉 ・○渡部			
< 防蟻剤の説明 日本ボレイトより > ・ホウ酸の防蟻剤 (ボロン de ガード) の説明。 防腐防蟻処理に使え、アメリカカンザイシロアリ対策に有効。蒸散や分解されないので長期持続。 ・白アリ問題のある国 (アメリカ、オーストラリア、日本) ・アメリカ、オーストラリア：ホウ酸利用、日本：農薬 ・1 回塗布すれば、原則再処理はいらない。 ・地下白アリについては、10 年保証を付ける予定。 ・全ての構造材に塗布した場合、坪 1 万円程度。(通常の薬剤は、900 ～ 1,200 円/㎡) ・白アリ発見の糸口 軒下、玄関枠、床下換気口付近を注意深く見て、フンを探す。 ・白アリ対策 無垢の木材を外に放置しない。木材を土に直接差さない。 基礎断熱 (スタイロフォーム) も危ない。 以上説明され、賛助会への入会をお願いした。 < 会 議 > 1 . あいさつ 芝副会長より 2 . 各種報告 前回議事録の確認 CAD 研修 ・入門編 (5/16 , 5/23) 初級 (6/3 , 6/10) ・学校からの要望もあり、昨年度並みに開催する予定。 「建築におけるほんとうの環境問題とは」勉強会の運営確認 ・進め方等について確認した。 その他 ・5/15 地引網大会への参加協力についてお願いした。 ・各種講習会案内等を配布し、申込をお願いした。 3 . 議 題 (1) エコハウス見学会について (平成 2 3 年 6 月 3 日 (金) 実施) ・行程については、ワイナリー見学を含めたものとする。案内文にも掲載する。 ・8 : 3 0 出発の 2 0 : 0 0 帰着と修正する。 ・8 : 3 0 定刻に出発しますので、ご注意ください。それ以降はバスへのご乗車はできません。と追記。 ・昼食については、ほうとう、麦とろ飯、小鉢、漬物のセットとする。ただし、昼食時の飲み物代は別である旨を記載。 ・ワインがお好きな方は、チーズ等をご持参ください。と記載。 (2) 「震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準及び復旧技術指針講習会」の開催について 講師講習会：平成 2 3 年 4 月 1 9 日(火) 10:00 ～ 16:15 東京大学校友会館望 星の間 出席者：棕 茂廣 (理事) 中田 隆 (耐震診断業務特別委員) ・机のある会場を押さえ、講師と調整して 6 月 ～ 7 月に実施することとした。 (3) その他 → なし 次回 平成 2 3 年 5 月 1 6 日 (月) 14:30 ～ 16:30 神事協会議室にて 吉野石膏より説明を受ける。				

21～22年度 第23回 (社)神奈川県建築士事務所協会 技術調査委員会 議事録			
開催日時	平成23年 5月16日(月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当副会長 ○芝京子 ・ ×西倉委員長 ・ ○玉田副委員長 (委員) ×松崎 ・ ×白石 ・ ○樋口(和) ・ ○野口 ・ ×樋口(雅) ・ ×荒谷 ・ ○有泉 ・ ○渡部		
<吉野石膏より商品説明> ・タイガーグラスロック耐震壁(耐震リフォーム専用技術)についての説明があり、使用するのには登録制(無料)を行う必要があり、設計施行マニュアル発行申込書をFAXにて送付して欲しい。 ・吉野石膏虎ノ門ビルでは、最新技術の展示や音響体験室等もあるので利用して欲しい。また、会議室もあるので、研修等にも利用出来るとの紹介もあった。			
<会 議> 1. あいさつ 芝副会長より 2. 各種報告 前回議事録の確認 エコハウス見学会について ・見学地へ再度、駐車場、見学予定時間について確認する。(樋口(和)委員) ・エコハウスの資料を当日配布する。 その他 ・各講習会等の案内を配布し、参加協力をお願いした。			
3. 議 題 (1) 神事協フェアについて 日時：平成13年9月9日(金)～10日(土) 日本丸メモリアルパーク 雨天決行 タイトル：みらいふれあい祭り in かながわ(みんなで考えよう!!まちづくり・家づくり) 役割及び企画等について ・技術調査委員会は、セミナー部会担当になったので、協力をお願いした。 - また、賛助会として、小沼氏、安藤氏、小磯氏が担当となった。 ・新旧委員が両方で参加し、協力して行うこととした。 ・6月中旬ぐらいには内容を決定していきたい。 ・訓練センターの会議室(セミナー利用)は、大100名収容、小50名収容の二つが利用出来る。 ・技術調査委員会としては、1ブースを希望する。 ・セミナーとしては、消費者向けと技術者向けの二つを開催したい。 案としては、 南雄三氏のセミナー(消費者向け) 外来材と国産材のエコマイレージの話(簡単に分かり易く説明して欲しい。) 液状化対策の話(専門家向け)			
<意見> ・案内の出し方については、賛助会の中でここに来ると詳細を教えて(説明)頂ける等を具体的に記載し、興味をそそる方が良い。 ・ブース展示の配置を考えて欲しい。(ありきたりではなく、入りたくなるように) ・会員を参加させたいのであれば、参加者にインセンティブを与えられるようなものが欲しい。 例えば、賛助会の商品が参加者には特別割引になる等			

(2) 菊池先生からのアンケートについて (100 以上の回答を要望されている。)

- ・支部長宛の協力依頼を委員長名で作成する。
- ・支部ごとに希望回答数を記載し、依頼する。
- ・各委員会時にも協力をお願いし、回答頂くこととした。

(3) 「震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準及び復旧技術指針講習会」(全構造編) の開催について

開催日時：平成 2 3 年 7 月 4 日(月) 10:00 ~ 16:15

講 師：概要及び木造担当：棕 茂廣 (理事)

S 造及び R C 造、SRC 造担当：中田 隆 (耐震診断業務特別委員)

・司会：渡部委員 開会挨拶：上原会長 閉会挨拶：芝副会長 受付手伝い：全員

(4) その他

次回開催は、未定。決定次第連絡する。